

SA 吹田通信 第 63 号

発行 SA 吹田事務局 〒564-0004 吹田市原町 3 丁目 7 番 2 号 TEL/FAX06-6388-3380
ホームページ <http://outdoor.geocities.jp/suitabear/sasuita.htm>

お迎え市長室 阪口市長と SA 吹田の懇談会開催される!!

会長 小川忠夫

8 月 25 日(金)に吹田市役所において、「お迎え市長室」が開催されました。SA 吹田からは会長・副会長・総務・会計・心ふれあいネット副会長の 7 名参加しました。

この懇談会は、SA 吹田の活動状況を阪口市長に報告し、いろいろな課題について意見交換する場です。活動状況報告では 高齢者ケア 子ども健全育成 コミュニティ作りの三本柱の活動状況と心ふれあいネットの活動について、作りたての「SA 吹田のリーフレット」をもとに報告しました。このほかに大阪府の高齢者ワーカーズ先導モデル事業、エコおもちゃ作り市民塾についても説明しました。

この中で、歌体操交流会が話題になり来年の 3 月に行われる「心ふれあい歌体操交流会」において、阪口市長にぜひ開会のご挨拶を頂くと同時に、みんなと一緒に歌体操をしていただきたいとお願いしたところ、快諾を得ました。日程が合えば実現すると思われま。又、歌体操は SA 講座の中から生まれたものであり、歌体操については SA 吹田が全力を挙げて取り組み、普及改良に力を入れたいと表明しました。吹田市でも歌体操を含めた健康体操を吹田市の独自の体操として作り上げるよう現在取り組んでいるそうで、SA 吹田の意見も聞きながら完成させたいと表明がありました。

一方、市長の方から「生涯学習吹田市民大学」について説明がありました。

8 つの分野に体系化し各分野で 5 回連続の講座が行われる。「シニア環境大学」や

「まちづくり吹田学塾」と連携しながらの活動になるとの事。本年 10 月にスタートし新規募集を開始する計画です。基本的には旧老大的な活動内容を発展させ市民主体の市民大学に発展させる構想のようです。

SA 吹田としては、生涯学習市民大学の構想については、全面的に協力していくが、この中でのボランティアの養成講座の位置付けはどうなるのかをたどしました。

今後の更なる高齢化社会を迎え、生涯学習と同時に高齢者の社会貢献こそが重要ではないか。いろいろな意味でのボランティア参加こそ社会貢献の道であり、そのボランティアの人材を養成し増やす事こそ今後の超高齢化社会を迎える地域社会の最大の課題であると主張しました。それこそが SA 吹田の今後の目指す活動の方向であると思っています。一般教養・生涯学習だけでボランティアの人材養成が出来るとは思えない。ボランティアの人材育成プログラムを何らかの形で考えていただきたい、と強く要請しました。

その後、SA 吹田の出席者一人ひとりが自分の考えや要望事項を表明して懇談会を終了しました。

阪口市長からは SA 吹田から出された意見を勘案しながら今後取り組んで行きたいと表明がありました。

SA 吹田としては、知名度や存在感がまだまだ小さい中、今後もいろいろな場面で、存在感をアピールして活動を活性化させていきたいと思っています。



SA 吹田が応援する「エコおもちゃ作り市民塾」がスタート!! 塾長 小川忠夫

8月2日、総塾長の阪口吹田市長を迎え、吹田市の「まちづくり市民塾」の開塾式が開催されました。「エコおもちゃ作り市民塾」は「ナイフ」の使い方を子ども達に教えよう、というテーマで2年間活動していきます。

第1回目の例会が8月19日の13:30からSAハウス第二集会場で開催されました。専

任講師の松井鴻先生の指導の下、木っ端細工(間伐廃材を活用したおもちゃ作り)を塾生22名参加のもと楽しく汗をかきながら大奮闘をしました。終了時の各人コメントでも皆さんほとんど全員が今後も楽しみながら続けたいとの表明がありました。これからでも入塾出来ます。お待ちしております。

希望者は小川まで。電話 6388-3380

各ブロック内(地区別)で会員の集いを実施! ブロック部会長 19期 沖村史生

こんにちは、ごきげんいかがですか?

このように声をかけあえるSA吹田に!!

去年は、ブロック懇談会において会員の皆様にはアンケートにご協力、そして前向きなコメントを頂き有難うございました。

本年度は、ブロック懇談会をブロック部会に改め部会のあり方を検討、SA吹田といえば、歌体操・おもちゃづくり・広報配布と言われてきましたが、アンケート結果を見ましても地域に密着した活動が多く地域活動が主流であり、地域での活動を仲間

やっていく、ブロック部会は、こんな会員のつながりが大切と考えられます。そこで部会では、広報通達はもちろん、そして、ブロック内(地域別)におけるSA会員のみなさんが顔を合わせ、お話し合いし、色々と情報交換のできる集い等を行い、SA吹田がより親しみのある楽しい会にと展開していけたらと思います。

「人間、毎日が日曜日だと、休みの楽しさがわからない。忙中閑ありが最高」

第1回「SA吹田第1および第4ブロック会員の集い」を開催!!

第1ブロック報告 8月25日(月)午前北千里地区公民館において、第一回の集いが開催されました。小川会長ご出席のもと地区会員10名が参加して、小川会長ご挨拶、SA吹田の概要・活動報告、昨年実施の会員アンケートの結果照会、会員各自の活動紹介などが行われました。会員が多岐にわたる活動をされていることを知り、会員相互の面識を得ることが出来、非常に

意義のある会合でありました。また多くの旧知の友とも会うことができましたことは、今後の発展にも繋がることも感じさせられました。[第1ブロック長 村上正(19期)]



(和やかな雰囲気での談笑)

第4ブロック報告 8月25日SA吹田第4ブロックの会員懇談会が開催され、17名が出席されました。皆さんお元気で積極的で、活動分野も老人ケア、子供の健全育成から海外事業支援まで広範囲に及んでいます。活動の悩みとしては、最近のボランティア不足、後継者不足等が挙げられておりました。でも参加者の多くの方々が活動を生甲斐として頑張っておられるご様

子、誠に素晴らしいです。本音で話せて、連携を拡げる機会を持てる事は、皆さん大歓迎で、又の機会を期待し、私のマジックショーに心なやまして、散会となりました。[第4ブロック長 見並泰男(19期)]



(皆様の活動は広範囲でした)

竹見台児童センターでの SA 吹田のおもちゃづくり

17 期 久賀俊秀

今年で 5 回目となる「てづくりおもちゃを作っておそぼう」に参加しました。毎年参加する子ども達も増え、



(子ども達の目が輝いてました) 「なあなあ、今年は何を作れんの？」と眼を輝かしながら、待ちきれなくて会場に入ってくる子もいました。

カップごま・玉乗りパンダ・ひらひらコプター・ブンブンゴマ・ロケット・かざぐ

るま・ガリガリプロペラ・おきあがりこぼし・クリオネ」と盛り沢山のメニューを提供し、SA 吹田から八木さんをはじめ延べ 15 人のメンバーが心地良い汗(冷房が効いています)をかきました。

この児童センターのカバーエリアは、竹見台・桃山台・佐竹台・高野台・津雲台・豊中市の一部となっており、遠方にもかかわらず多く地域から参加者があり、中には大阪市内から帰省中の子どもがいたり、幼児とお母さんの姿も多く、日頃のセンター活動が定着している感触を受けました。

グループ活動: 「たけとんぼ」

万博外周アドプト・ロードの清掃活動

19 期 藤本美貴子

私たち SA19 期の仲間で「たけとんぼ」という名でボランティア活動をしています。

私たち(たけとんぼ)は、大阪府(茨木土木事務所)と協定を結び、道路の里親になり、活動区間を定めて、美化活動を続けています。毎回 10 名前後の仲間が集まって、武道館前より進歩橋までの万博外周道路(車道を除く)の草刈りや、道路の清掃に取り組んでいます。身体を動かすことで、適度な汗をかき、筋トレやストレス解消にもなります。時々、通り過ぎる人たちが、「ごくろうさん」と声をかけてくれたりしますが、きれいになった道路を眺めながら、「ひとりではなかなか出

来ないことでも、みんなで力を合わせれば出来る」という達成感を味わっています。 終わった



「アドプト」とは養子縁組のこと。

あとは、武道館の喫茶コーナーでミーティングをしながら、今後の活動方針などを話し合っています。

この他、私たちは竹林整備や竹細工づくり、グループホーム「たんぼぼ」での喫茶のボランティアにも取り組んでいます。

投稿: 傾聴ボランティアについて

12 期 高橋喜美子

私が傾聴ボランティアを始めたのは 3 年前からでした。それ迄に色々な老人ホームを見学して、言葉を失った方々のことない空虚さが気になっておりました。何とか話し相手になれないものかと考えておりました時、吹田市民塾の”ほほえみ返しの市民塾”に参加することができ、約 1 年の講習と実習を経て、現在は大阪市立弘済院で 1 ヶ月に 2 回のボランティアをしております。

歳を取ると云う事は、致し方のないものです。殊に配偶者を失いますと、日常の話し相手がなくなります。年令から来る頭脳の衰えと同時に、トレーニングする場が激減するのです。使わなくなると機能は衰えます。殊に老人ホームに入られて、一人きりの生活になられますと、ひとりでに言葉を失ってゆきます。そんな淋しさを少しでも和らげて差し上げられたら良いなあと思っています。

隔週に伺いますと、「お久しぶりですね」から始まります。昔の事、殊に若かった頃の事、相思相愛の方の事、お話は尽きません。1 年位経った頃、死ぬ事について話されました。之は誰も逃れる事は出来ません。私も真剣に考えお答えしておりますが、結論は出ません。此の様にして約 1 時間一緒に過ごします。前後

30分づつの準備、反省の時間で合計2時間、自分にとっても有意義な時間です。

同世代の方々、又先輩の方々と、皆様は楽しかった昔話をして下さい。そのような方々のお話を聴くボランティアです。皆様の参加をお勧めします。テクニクは講座を受けてお勉強して下さい。

SA 吹田 2008 年 8 月度役員会議事録抜粋

1 .「心ふれあいネット」～活動を広げ一般市民への入会 PR を推進。2 .エコおもちゃ作り市民塾が吹田市まちづくり市民塾に認定された。3 .山手小学校から 10 月 25 日(土)のブラインドウオーク体験の依頼。4 .国際交流部会申請中の「大阪府福祉基金地域福祉進行助成金」決定。4 .部会報告
歌体操部会。おもちゃ部会～竹見台児童

センター夏休みおもちゃ教室(7月) 千三公民館「親子でおもちゃづくり」(6月、7月) 国際交流部会～「外国人と小学生との交流」を本年秋に実施予定。各校と交渉中。都市環境部会～新規。19、20 期会員中心で立案中。ブロック部会～各ブロックに委員(世話係り)を設定、ブロック内の交流を推進する。

8 月度 SA 連協理事会抜粋

1 .理事長挨拶 府の SA 養成講座予算は来年度以降カット。今後は NPO 法人として維持継続を模索。2 .来年度以降の講座事業：府と講座関係 6 団体との会合で、「府の講座として認定して、その委託先を 6 団体

の新しい NPO 法人にする」との案。その方向での推進を SA 連協理事会で承認。3 .各委員会・部会の報告。4 .その他：9 月 22 日(月)、25 日(木)に 21 期生との地域交流活動。

SA 吹田活動予定(9月) (参加希望者は担当者へ連絡を)					
9月	曜	行 事	時 間	場 所	担当者
5日	金	幼稚園フェスティバル	13:00～15:00	東佐井寺幼稚園	八木秀雄
9日	火	幼稚園フェスティバル	13:30～	南吹田幼稚園	見並泰男
13日	土	SA 吹田おもちゃづくり市民塾	10:00～12:00	北千里公民館	小北月子
14日	日	よっといで祭り	9:30～15:00	千里南公園	八木秀雄
高齢者ケア関係					
13日	土	たんぽぽ歌体操	14:00～15:00	たんぽぽ	加藤昌子
19日	金	弘済院歌体操	14:00～15:00	弘済院第2特養	加藤昌子

「編集後記」 残暑お見舞い申し上げます。まだまだ残暑があるとの予報が出ています。どうかご自愛を頂くようお祈り申し上げます。

今月も、高橋さんより「傾聴ボランティア」について投稿を頂きました。先月の森下さんの投稿「あいほーぷ吹田での喫茶室サービス支援」に続くものです。これからも皆様のいろいろな内容の投稿をお待ちしております。(広報 新崎)